

安中の魅力 百選

みんなに知らせたい

<p>1 碓氷川を渡る貨物列車 ▲ 岩井(国道18号線跨線橋付近)</p> <p>東邦垂鉛専用列車でいわき～安中間のほぼ毎日運転。通称安中貨物。この橋梁の手前半分は100年以上前に製造されたもの。</p>	<p>2 線路ができるはずだった? ▲ 板鼻(板鼻陸橋付近)</p> <p>かつて板鼻方面への鉄道が計画されたことがあり、その一部として鉄道の橋脚が打設されたものが残っている。</p>	<p>3 東邦垂鉛 ▲ 中宿</p> <p>国内有効の生産量を誇る、東邦垂鉛(株)の製錬工場。広大な斜面に建設されており、映画やゲームに出てくる要素を思わせる。</p>	<p>4 引込線と夏空 ▲ 中宿(東邦垂鉛地内)</p> <p>たまにしか貨車が通らない、工場への鉄道引込線。晴びたレールと青空に浮かぶ夏の雲。</p>	<p>5 安中駅の碑 ▲ 中宿</p> <p>信越線安中駅にある旧跨線橋の支柱。「川崎造船鉄橋語分工場」とあり、これは現在の川崎重工業兵庫工場ことだと思われる。</p>	<p>6 橋上から見る変わる景色 ▲ 中宿(国道18号線久芳橋橋上)</p> <p>久芳橋から一望できる「碓氷川」と日本三大奇景の一つ「妙義山」。</p>	<p>7 自性寺焼 ▲ 下秋間(自性寺焼里秋間)</p> <p>安中市の誇るべき焼き物である自性寺焼。秋間で採取できる陶土を用いて焼上げたもの。</p>	<p>8 安中教会 ▲ 安中3丁目</p> <p>日本人の手で創立された日本最初の教会。新潟県天30周年を記念し、大正8年竣工。2004年に登録有形文化財。</p>	<p>9 相持道祖神と豊珠沙華 ▲ 安中</p> <p>高貴な生活をうかがえる身なりの夫婦。いつの時代から祀られているのか、今も変わらぬ思い。</p>	<p>10 井伊直政正室の墓・直好生母の墓 ▲ 安中3丁目(大泉寺地内)</p> <p>大河ドラマでも人気を博した「井伊直政」正室、及び安中藩2代目藩主「井伊直好」生母の墓が安置されている。</p>	<p>11 旧安中藩邸奉行役宅 ▲ 安中3丁目</p> <p>安中市の歴史を偲ばせる郡奉行の役宅。江戸時代、安中藩の郡奉行が住んでいたとされる建物を、平成に入ってから復元したものの。</p>	<p>12 旧安中藩武家長屋 ▲ 安中3丁目</p> <p>市指定重要文化財である施設。安中城内に立ち並んでいた家臣の長屋を、平成に入ってから復元したものの。</p>		
<p>13 新島学園イルミネーション ▲ 安中</p> <p>2017年で19回目を迎えたクリスマスツリーイルミネーションの点灯。今回は新島学園創立70周年のメモリアルイベントとなった。</p>	<p>14 安中市民クリスマス ▲ 安中(新島学園礼拝堂)</p> <p>他の市にはあまり見られないパピポルガンの演奏で、クリスマスの祭りが行われる。</p>	<p>15 上原写真館 ▲ 安中2丁目</p> <p>モダンで素敵な、昔の金融機関の建物。昨年、内装を大幅に直し、店内部もとてもオシャレに。</p>	<p>16 音を感じる街並み ▲ 安中2丁目(有田屋)</p> <p>有田屋の前を通ると香る、お醤油のいい香り。醤油味のかき氷など、珍しい物も売っていてとても美味しい。</p>	<p>17 車に乗っている観音様 ▲ 安中2丁目(龍昌寺地内)</p> <p>曹洞宗龍昌寺の境内にある観音様。交通安全を祈願して、自動車好きの当時の住職が建立したものだ。</p>	<p>18 「たりのまつり」種を蒔き、獲る楽しさの場所 ▲ 上間仁田(学習の森)</p> <p>2006年から有志にて活動し10年以上続く「手づくりのおまつり」。子どもから大人まで楽しめるローカルカルチャーフェス。</p>	<p>19 県信用上毛三山モチーフ ▲ 原市(群馬県信用組合本店地内)</p> <p>上毛三山をモチーフに、石を配列して作製されたモニュメント。</p>	<p>20 時間の重み ▲ 原市(デイリーヤマザキ付近)</p> <p>杉並木通りが新しく綺麗になった。でも、巨大な杉はずっと変わらずに時間を重ね続ける。いつまでも、いつまでも…。</p>	<p>21 J A碓氷安中の建物 ▲ 原市(J A碓氷安中本所)</p> <p>建てられた時代の空気を今に伝える建築物。当時の流行や心意気を示すように、とても格好良い貴重なもの。</p>	<p>22 原市教会 ▲ 原市1丁目</p> <p>1903年に県内で2番目に設立された赤心幼稚園の母体となった。神様に見守られながら子ども達が元気に遊んでいる。</p>	<p>23 安中市の今と昔が同居 ▲ 原市2丁目(セキチュー安中店地内)</p> <p>碓氷社本社事務所とセキチューが並ぶ風景。かつての安中と今の安中が1つの敷地内に同居している様子がおもしろい。</p>	<p>24 碓氷社の蔵(おさ)欄間 ▲ 原市2丁目</p> <p>碓氷社の欄間の組子細工は「箴欄間」と呼び、機械り機の縦糸を彫る「箴型」を模したもので、製糸会社を意図したものである。</p>		
<p>25 綱笠神社の桃の彫刻 ▲ 原市2丁目</p> <p>綱笠神社建設の経緯は複数考えられるが、本殿の桃の彫刻により碓氷社の「鬼門除け、守護神」として祀られたことも想定される。</p>	<p>26 霜災碑～安中の記憶～ ▲ 原市2丁目(綱笠神社境内)</p> <p>運糧により桑が害を受け、養えなくなった蚕が死に…。そんな安中の悲しい記憶を今に伝える石碑。</p>	<p>27 奉納競馬馬の駒形 ▲ 深瀬(地山稲荷宮)</p> <p>碓氷社創業30周年記念の競馬会の掲掲で、節障しに競馬に因み、将棋の駒形が埋め込まれている。職人の洒落た計らいである。</p>	<p>28 旧中橋橋脚 ▲ 磯部4丁目(中橋付近)</p> <p>かつて碓氷川に架かっていた古い中橋のレンガ積み橋脚が、今も川岸にひっそりと残っている。</p>	<p>29 松岸寺の赤穂浪士大野九郎兵衛の墓 ▲ 磯部4丁目</p> <p>大野九郎兵衛は、赤穂藩の家老で、吉良事件の後の展開を巡って大石内蔵助の一派と対立した人物。墓が松岸寺にあると言われる。</p>	<p>30 楳取素彦の別邸跡 ▲ 磯部1丁目(磯部温泉地内)</p> <p>初代群馬県令・楳取素彦は磯部温泉に別邸を持っていたと言われており、その遺構が磯部旭館の敷地内に残っている。</p>	<p>31 磯部菊花展 ▲ 磯部1丁目(磯部公園地内)</p> <p>磯部公園内で催される菊花展は、大菊盆栽、盆栽、懸崖など、市内菊会会員や愛好家が大切に育てた作品が展示される。</p>	<p>32 日本最古の温泉マーク ▲ 磯部1丁目(磯部公園地内)</p> <p>安中市祥祥の日本最古の温泉マーク。いつまでも守り、伝えていきたい。</p>	<p>33 春爛漫の城山 ▲ 磯部4丁目(磯部城山北側奥道)</p> <p>磯部音頭と磯部小学校の校歌で歌われている城山をバックに、上り115系電車(現在は定期運行終了)と菜の花。</p>	<p>34 普賢忌 ▲ 磯部1丁目(磯部温泉会館)</p> <p>磯部出身の詩人・大手拓次の命日に、大手拓次研究会の方が詩の朗読や合唱を行っている。</p>	<p>35 桜の名所 ▲ 磯部3丁目&松井町入見</p> <p>信越化学人見工場前や、忠霊塔公園など、春には綺麗な桜をたくさん眺めることができる。</p>	<p>36 磯部温泉祭 回る火花 ▲ 磯部1丁目</p> <p>磯部温泉祭りで、光柱を上げながら歓歌に回る火花。</p>	<p>37 羊神社の羊 ▲ 中野谷</p> <p>全国に2カ所しかない珍しい羊神社。田舎の小さな無人の神社ながら、未年には全国から多くの参拝者が訪れている。</p>	<p>38 中野谷のホタルの飼育名人 ▲ 中野谷(個人宅)</p> <p>安中市観光公園内にある「中野谷ホタルの里」では、地元のホタルの会の多胡さんと片相さんの二人がホタルの飼育を行っている。</p>
<p>39 安中市観光公園のハスの花 ▲ 中野谷</p> <p>安中市観光公園にたくさん咲き誇る、綺麗なピンク色をしたハスの花。</p>	<p>40 清元寺の彼岸花 ▲ 中野谷</p> <p>秋の彼岸の季節になると、清元寺の六地藏様の周辺にたくさん彼岸花が咲く。</p>	<p>41 お花畑と蕎麦畑 ▲ 中野谷</p> <p>耕作できなくなった畑で、ポピーや蕎麦の花を栽培している。蕎麦は秋に収穫され、地域住民に振る舞われる。</p>	<p>42 林の中の紫色のカーペット ▲ 中野谷(安中市観光公園地内)</p> <p>安中市観光公園・中野谷ホテルの里にあるナラ林の一角に、毎年秋に収穫された花が咲く。4月中旬が見頃である。</p>	<p>43 曲線の美しいガードレール ▲ 中野谷(観音堂橋付近)</p> <p>砂押川に沿った農道に「美しい曲線をしたガードレール」が設置されている。春には土手に紫色のハナダイコンの花が咲く。</p>	<p>44 中野谷地区に沢山のキャベツ苗 ▲ 中野谷</p> <p>春の訪れと共に中野谷の畑のあちこちにキャベツ苗畑が出現。温暖な畑で育てられた苗は「嬉恋高原キャベツ」として出荷される。</p>	<p>45 西横野古代道のナゾ ▲ 松井町入見</p> <p>西横野東部地区には、およそ1300年前の古代道と思われる遺跡が300mにわたり発見され、調査が進められている。</p>	<p>46 絶景 ▲ 東上秋間(石尊山遊歩道入口付近)</p> <p>安中橋名駅上の山道を登り切り、石尊山の遊歩道を上ると左手に絶景が広がる。左手前方には遙かに安中駅、右手には妙義山を望む。</p>	<p>47 緑の谷間を行く北陸新幹線 ▲ 東上秋間(石尊山遊歩道入口付近)</p> <p>新幹線はスピードがあるので、定位置で列車を撮影するのは難しい。この撮影場所は県内外から多くのカメラマンが来ている。</p>	<p>48 安中の宝 ▲ 東上秋間</p> <p>百以上の庚申塚が円形に並んでいるのは、珍しいと思う。円形に並んだ石仏に、昔の庶民の願いが伝わってくるようだ。</p>	<p>49 曙 ▲ 秋間みのりが丘(安中橋名駅付近)</p> <p>安中橋名駅周辺は日の出が良く見える。澄んだ空気、オレンジ色に照らされる妙義山、初日の出のスポットに!</p>	<p>50 安中橋名のオーパーツ ▲ 秋間みのりが丘(安中橋名駅付近)</p> <p>安中橋名駅から500m程下った所にあるオーパーツ(芸術的オブジェ)。周囲の山々と市内を見下ろせる一押しパースポット。</p>	<p>51 悟留蹟(コルパ) 観世音菩薩 ▲ 中秋間(金性寺地内)</p> <p>周辺に多くあるゴルフ場の繁栄などを願って建立された。菩薩の背後には13本のゴルフクラブが彫り込まれている。</p>	<p>52 Lady Bug ▲ 中秋間(安中造園オープンガーデン地内)</p> <p>安中造園が手がけるオープンガーデン。ひっそりと佇むおしゃれな空間で自由に見学ができる。</p>
<p>53 アンリウくん ▲ 東上秋間(秋間小学校付近)</p> <p>秋間小学校前の交差点で、アンリウくんは今日も良い子の交通安全を見守っている。</p>	<p>54 晩秋の妙義山 ▲ 小俣</p> <p>妙義山麓の刈り入れ後の田んぼ。機械化によって、もう見られない風景になってしまいかもしれない。</p>	<p>55 北野寺所蔵文書 ▲ 下後閑</p> <p>井伊家が安中から彦根に転封した後も、代々の彦根藩主から送られた新年の賀状。幕末の大老井伊直弼のものも含まれる。</p>	<p>56 新島羣発掘現場 ▲ 上後閑</p> <p>後閑川沿いには中新世の浅海堆積物が分布する。新島羣旧部に残されている貝化石は、この場所で発掘収集された可能性が高い。</p>	<p>57 たんぼのお見送り ▲ 西上秋間(群馬フラーワーハイランド地内)</p> <p>群馬フラーワーハイランドにて、花々を堪能した後、出口に掲げられた看板。花たちが見送ってくれているよう。</p>	<p>58 隠れ梅林 ▲ 西上秋間(飽馬神社付近)</p> <p>手入れも行き届き平地を覆い尽くすように見事に咲いており、遠くから眺める梅の時期でも、訪れる人は少ない。</p>	<p>59 新幹線トンネル工事の履物マシンの一部 ▲ 西上秋間(秋間梅林地内)</p> <p>トンネル工事現場から土砂等を運んだ車両と共に見つけたもの。新幹線工事のことを伝える貴重な歴史的遺産ではないだろうか。</p>	<p>60 天空の花園 ▲ 西上秋間</p> <p>秋間梅林の大パノラマが眼下に広がる。安中が一番美しい所。満開の梅の時期でも、訪れる人は少ない。</p>	<p>61 餅つき道祖神 ▲ 西上秋間(飽馬神社付近)</p> <p>秋間梅林周辺にある道祖神。夫婦円満の神様として崇められているようだ。</p>	<p>62 十字手廻り道祖神 ▲ 下秋間・宇打越</p> <p>双体道祖神像に「十字」が線刻されたものは、全国的に珍しい。隠れキリシタンとの関係やいかに?</p>	<p>63 旧松井町役場 ▲ 松井町新堀</p> <p>異色の建築家と呼ばれた白井晟一が設計。前橋煥乎堂がなくなってしまう現在、県内唯一の白井建築。</p>	<p>64 土蔵(横山)家のひな人形コレクションほか ▲ 松井町新堀(個人宅)</p> <p>江戸、明治、大正、昭和の典型的なひな人形飾りほか、子供の玩具なども、充実した貴重なコレクションである。</p>	<p>65 さつきボール ▲ 松井町松井田(武井内科補聴器科地内)</p> <p>樹齢は50年ほどのさつきの1本。満開時にはほとんど花ばかりで、バックに写真を撮ると背景が全部ピンクと白の花となる。</p>	<p>66 すぐには外にできません ▲ 松井町新堀(松井町商工会館)</p> <p>昭和13年の建築で、昭和43年まで警察署として使用された。入口の扉が3枚あり、犯人などが逃げづらくしていた。</p>
<p>67 12時25分 トナカイ便 碓氷峠行き ▲ 松井町松井田(松井田商店街)</p> <p>松井田商店街に現れる、知る人ぞ知るサンタコース。見たら幸せになれるかも!?</p>	<p>68 碓氷製糸の絹糸 ▲ 松井町新堀</p> <p>碓氷製糸で作製した絹糸。優雅な光沢のある繊維が美しい。</p>	<p>69 ネコヤマ ▲ 松井町五科(セアンブレラン地内)</p> <p>ネコの形をした、安中市が誇る妙義山。角度によっては見られないレアなスポット。</p>	<p>70 造りたのみの現姿が観られる散歩コース ▲ 松井町八幡～行田(高速道路側道)</p> <p>折り返し約3km、散策に最適な高速道路沿いの側道。高速を跨ぐ橋が3つあり、荘厳な妙義山の寝姿を一望できる絶景スポット。</p>	<p>71 妙義山麓美術館 ▲ 松井町行田</p> <p>妙義山を描いた画家の企画展を多数行っている。美術館の窓の外に広がる風景が、絵の中にそのまま描かれている。</p>	<p>72 妙義富士 ▲ 松井町五科</p> <p>標高790m。富士山のような形に見える部分特徴。</p>	<p>73 木馬淵の魚道 ▲ 松井町上田</p> <p>正式名称は「上木馬淵砂防堰場」。県内唯一のらせん構造の魚道であり、高さは国内最大の10mを誇る。</p>	<p>74 秋の仙ヶ滝 ▲ 松井町土埴</p> <p>松井田落城の時城から逃げ出した女中「お千」が身を投げたと言われており、真夏でも涼しく感じられる。</p>	<p>75 きれいになるかな? ▲ 松井町五科(妙義湖中木ダム付近)</p> <p>中木ダムの放水に合わせてバイクを配置。水がかかっているように見える。</p>	<p>76 釜めしパン ▲ 松井町横川(横川サービスエリア地内)</p> <p>横川ISA(上り線)内で販売しているパン。釜の具材を忠実に利用しており、リアルな釜めしの味がパンで味わえる。</p>	<p>77 かいこパン ▲ 松井町横川(横川サービスエリア地内)</p> <p>横川ISA(上り線)内で販売しているパン。白いちぎりにパンに可愛い黒目がちやくこんと付いて、お蚕様を表現している。</p>	<p>78 横川の愛染明王 六夜地蔵 ▲ 松井町横川</p> <p>1878年廃寺になった龍洞寺の隠聖跡に、地域住民が再建した愛染明王堂。石に線刻された見事な愛染明王像と六夜地蔵。</p>	<p>79 横川駅 ▲ 松井町横川</p> <p>信越線の終着駅。かつては碓氷峠越えの拠点であり、駅弁(峠の釜めし)が発展した。「関東の駅百選」第1回選考にて選定。</p>	<p>80 親子そば(横川) ▲ 松井町横川(横川駅地内)</p> <p>J R東日本の「駅そば」キャンペーンにて提供されたそば。1日限定5食、鶏肉と半熟卵のコーラレーションが食欲をそそる。</p>